

## 別記様式

## 議事録

会議の名称	令和5年度第2回岩倉市子ども・子育て会議
開催日時	令和5年10月16日(月) 午前10時から午後12時まで
開催場所	岩倉市役所 7階 第2・第3委員会室
出席者 (欠席委員・事務局)	出席者：渡邊眞依子会長、松本恵会長職務代理、高木辰也委員、町田竜介委員、中島正資委員、廣中大雄委員、丹羽真伸委員、新堀真知子委員、町川麻衣子委員、伊藤弥生委員、牧野佐保委員 欠席者：押上亜弓委員、 事務局：教育こども未来部長、子育て支援課長、指導保育士、児童館長、保育グループ長、児童グループ長、児童グループ主査 コンサルタント：一般社団法人 地域問題研究所
会議の議題	1 子ども・子育て支援についてのアンケート調査について 2 お子さんの放課後の過ごし方についてのアンケート調査について 3 子どもの権利についてのアンケート調査について(子ども用) 4 子どもの権利についてのアンケート調査について(保護者用) 5 その他
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他( )
会議に提出された資料の名称	令和5年度第2回岩倉市子ども子育て会議 議事録 資料1-1 子ども・子育て支援についてのアンケート調査(案) 資料2-1 お子さんの放課後の過ごし方についてのアンケート調査(案) 資料3-1 子どもの権利についてのアンケート調査(子ども用)(案) 資料4-1 子どもの権利についてのアンケート調査(保護者用)(案) 資料1-2、2-2、3-2、4-2(それぞれの日本語ふりがな付き)
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0人
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）	
開会	
事務局	・令和5年度第2回岩倉市子ども子育て会議を開催させていただきます。
1. あいさつ	
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は、「第3期岩倉市子ども・子育て支援事業計画」及び「子ども行動計画」の策定にむけて、アンケート調査について具体的な内容を検討していきます。委員の皆様には、事前にお配りさせていただき、お目通しいただきありがとうございます。子どもたちや子育て世帯の声を反映させる重要なアンケートですので、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。</li> <li>・また、岩倉市の子ども子育て支援の質の向上にも向けてアンケート調査に関わらないことでも、ご意見があればいただきたいと思います。</li> </ul>
2. 議題 (1) について 事務局より、資料1-1、1-2に基づき、子ども・子育て支援についてのアンケート調査案について説明	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明のとおり、今回はウェブ回答になります。郵送でお届けするのは、二次元コードの記載のある依頼用紙と用語の説明だけになります。</li> <li>・今回は、資料1-1「子ども・子育て支援についてのアンケート調査（案）」について調査のデモ画面を用意しました。委員の皆さまもぜひ回答していただき、ご意見があれば承りたいです。よろしくお願いいたします。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼文では、幼児期の学校教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」などを把握し、第3期計画を策定するにあたっての基礎資料として活用するために、アンケート調査を実施するとあります。最近では、子育ての不安解消として、「こども誰でも通園制度」などの話を聞きますが、設置者側として保護者の方々がどう思っているのか意見を聞きたいと思っています。</li> <li>・また、外国籍の方向けのアンケートとして、同じ種類のアンケートでも、日本人向けのアンケート調査に比べ外国籍の方のボリュームがだいぶ少なくなっています。外国人の方も岩倉市民の仲間と捉えたときに、ボリュームの少なさは是非を教えてください。</li> </ul>
会長職務代理者	・委員と同じ考えで、私も日本人と外国籍の方のボリュームがだいぶ異なると感じました。また、日本語ふりがな付きのアンケートについては、作成にあたってやさしい日本語などの専門家にみてもらったのでしょうか。
事務局	・外国籍の方といっても、日本語の習得レベルは様々だと聞きます。今回は、「ニーズ調査」を重視し、市として欲しいニーズのデータを得られないというリスクを避けたいと考え、必要最低限の内容をお尋ねする形としています。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また、今回は、やさしい日本語の専門家の方にはお願いはしていません。「やさしい日本語」ではなく、ふりがなをつけて対応しました。ポルトガル語については、市の通訳をしている方をお願いして作成します。</li> <li>・現段階では、「こども誰でも通園制度」といった国の動きについて、今回のアンケートのどの設問からニーズを導けばよいか整合性をうまく図れていないのが本音です。現段階では、現状の施設に空きがある場合に受け入れするという前提になっていると聞いており、現状では、保護者のニーズに合わせて枠を用意する仕組みにはなっていないと聞いています。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍の方についても、同じボリュームにして、回答できる人が回答するという形にするのも一つの手法ではないでしょうか。私は国際交流協会の役員をしていて、外国籍の子育て世帯の方とも定期的に意見交換会をしています。外国籍の方にお悩みがあることを聞いており、何かしらの対策ができないかと考えていました。</li> <li>・また、「こども誰でも通園制度」などの新しい制度については、これからどうなるかわからない中で検討することが難しいという事情も分かりますが、今後の流れもくみ取り、基礎資料となるように、保護者の需要を押さえておいてもよいと思います。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍の方については、ニーズ調査のところを必須回答にし、それ以外を任意回答にするなどすみ分けて整理ができないでしょうか。</li> <li>・アンケートについては、今後を見通して岩倉市民の意向をとらえる機会としていただきたいと思います。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍の方は、特定の課題を持っていることは間違いないと思っています。</li> <li>・必須回答と任意回答のすみ分けは技術的にはできますが、できれば外国籍の方の負担減を優先させ、ニーズ調査にしぼりつつ、日本人向けのアンケートの問7「子育てに関して、不安を感じることはありますか」、問8「子育てをしていて、孤独感や孤立感を感じることはありますか」などを加えるのもよいと思います。</li> <li>・また、外国籍の方の意見の収集方法は、アンケート調査とは別の形で特化して調査していく必要もあります。個別に聞かないと分からない話もあります。</li> <li>・「こども誰でも通園制度」については、一時保育やリフレッシュ保育の利用ニーズでもそうですが、「働いていなくても、子どもを預けたいと思いますか」と尋ねると、ほとんどの方が「そう思う」と回答すると思います。問21「年間何日くらい不定期の教育・保育事業を利用する必要があると思いますか」の質問で、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の選択肢があり、ここの部分からニーズを拾っていきたいと思います。</li> </ul>

会長職務代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問 18「地域子育て支援拠点事業などを利用していますか」は、「1年間の利用回数」を回答することとなっていますが、例えば、「地域子育て支援拠点事業」で週1回利用していると年間52回となり、回答する側からするとややこしい。1年間で計算したい意図があるのでしょうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間で聞く意図としては、夏休みだけ利用する方から、年間を通じて利用されるヘビーユーザーまで差があるため、年間の利用回数を尋ねています。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設によっては週何回とした方がよいのではないのでしょうか。</li> </ul>
会長職務代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそも利用実態は各施設で把握しているのではないのでしょうか。このアンケートで聞く必要がありますか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問 18では「実際の利用の状況」を問 19では「これからの利用希望」をお尋ねしており、その比較を見たいと考え、アンケートで設問を設けています。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回答者が回答しやすいように整理してください。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問 17「長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望」について、こちらでは「週に数日利用したい」という項目がありますが、より精度の高い把握のため具体的な日数をきいてほしいです。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反映できるのであれば反映してください。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用語の定義について、冒頭にあり量も多くプレッシャーを感じます。わからないところだけ見る形としてはどうでしょうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回のアンケートは、依頼用紙と用語集の部分である冒頭から3ページまでを依頼用紙として郵送し、設問はウェブで回答いただきます。したがって、用語集もわからないときに参考に見ていただければと考えています。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問 23「放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか」について、「できればこうしたい（希望）」なのか、例えば、「本当は自宅で過ごさせたいけど、仕事があつてしかたなく」など「現実的な予定」を聞いているのか、回答者が迷わないでしょうか。「どのような場所で過ごす予定ですか」と尋ねた方がよいのではないのでしょうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここで把握したいのは、「現実的な予定」になります。「過ごす予定ですか」として現実的な予定を聞きたいと思います。</li> </ul>
<p>議題（2）について 事務局より、資料2-1、2-2に基づき、お子さんの放課後の過ごし方についてのアンケート調査案について説明</p>	
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2-1と2-2（ふりがな付）のアンケートは同じでよいのではないのでしょうか。学校側が資料2-2（ふりがな付）の配布対象者を選ぶことになると、煩雑になります。そもそも学校が判断するのは妥当なのではないのでしょうか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布方法はどうなっていますか。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2-2（ふりがな付）は両親のどちらも外国籍の方を対象と想定しており、両親の片方が日本人の方は、日本語版を配布することを想定しています。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布する際のルールをつけてもらえると分かりやすいが、それでも、外国籍の方が多い学校は大変になります。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布ルールを配布して対応したいと思います。</li> </ul>
会長職務代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふりがな付きとやさしい日本語は同じではないので、やさしい日本語といわない方がよいと思います。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は、やさしい日本語とは表現せず、「日本語ふりがな付き」と表現しています。</li> </ul>
<p>議題（3）について 事務局より、資料3-1、3-2に基づき、子どもの権利についてのアンケート調査案（子ども用）について説明</p>	
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生は学校で説明をしながら実施する形になります。そうすると、同じ教室で2種類に分かれていると進めづらいので、資料3-2（ふりがな付）はなくてもいいと思います。</li> <li>・アンケート調査は、小学4年生の先生に確認してもらいました。</li> <li>・まず、先生が説明するので、依頼文のふりがなは不要です。</li> <li>・問2（3）「自分の自由な時間に一番よくしていることの1週間の時間数」は日によって異なると考えられるので答えにくいです。</li> <li>・問15「他の人から何回かされたこと」の「何回か」は分かりにくい。2回以上と具体的な数字を明記した方が、子どもたちが判断しやすいと思います。</li> <li>・問18「あなたの家の経済的な生活レベル」は小学生には酷な質問だと思います。</li> <li>・「6. 児童館について、お聞きします」について、子どもたちは、みどりの家にはよく行っていますが、みどりの家は地域交流センターであり児童館ではありません。混乱しないように児童館の定義を記載し、どの施設まで対象とするか補足が必要だと思います。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では、「児童館について」とお尋ねしていますが、変更して、地域交流センターを併記していきたいです。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問15は、内容が重たいと感じます。また、1回でもきつかったりする場合もあり、回数の問題ではないと思います。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問18は6としてわからないを追加してはいかがでしょうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問2「自由な時間に何をしてお過ごししているか」について、今の子どもたちはゲームで友達とつながっており、家にいて友だちとゲームをしていたら、友達と遊んでいるという感覚だと思います。</li> </ul>

事務局	・問2の選択肢4「SNSやインターネットで人とやりとりをする」の付近に「友達とゲームをする」を追加することも検討します。
会長	・選択肢のどこかで、「友達とゲームをする」ことについて反映していただければと思います。
議題（4）について 事務局より、資料4-1、4-2に基づき、子どもの権利についてのアンケート調査案（保護者用）について説明	
委員	・問1「岩倉市子ども条例を知っていますか」となっていますが、11月20日が子どもの権利の日となっており、また、12月4日～10日が全国の人権週間となっています。人権週間に合わせて授業を実施する予定なので、アンケートの実施時期を検討してほしいです。
事務局	・1か月ほど回答期間を設ける予定なので、12月上旬まで差し掛かって回答できるようにしたいと考えています。
議題（5）その他について	
事務局	・アンケート調査については、修正内容等の詳細については事務局と会長とのやり取りで確認させていただくことでよろしいでしょうか。修正した結果は、再度委員の皆さまにお配りします。 ・調査の実施スケジュールも子どもの権利週間を期間中に挟めるように再度調整します。
会長	・異議等ございませんでしょうか。 (異議等なし) ・調査の実施スケジュールは、学校と調整をしながら決めていただきたいと思います。 ・この場でご意見を出しきれなかった方もいると思いますので、追加で質問や意見が出てきたら、個別に事務局にご意見をいただきたいと思います。 ・以上で議題が終了しました。進行を事務局に戻します。
事務局	・貴重な意見をいただきありがとうございます。意見をもとに修正をしていきます。会長からもありましたように、本日に限らず、次回の会議やその他の時間でも、アンケートに限らず子ども・子育てに関するご意見をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。
3. その他 事務局より今後の予定について連絡	
事務局	・アンケートは11月中には配布、12月中に回収を予定しています。 ・次回の第3回の会議は、令和6年2月21日を予定しており、アンケートの速報について報告する予定です。

以上